

2017年5月8日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 456

初等中等教員養成の新展開と質保証

～採用・研修との一体改革の中で／コアカリと教育課程改革～

ご参画・ご派遣のお願い

初等中等教員養成制度の大変革の中で、教職課程における教育課程の再構築と再課程認定業務が本年度の最重要テーマとなっております。各大学におかれては、教員養成教育に係る情報収集及び教員の教育研究業績アップ等の学内準備に鋭意、ご精励のことと存じます。

小会においても、昨年12月に「初等・中等教員の養成・採用・研修の新展開」セミナーを開催し、4人のベスト講師から政策動向に係る貴重な報告・論展をいただき、ご好評をいただきました。この6月～7月頃を目途に教職課程の「コアカリキュラム」及び「再課程認定の手引き」が公表される運びであります。

今回の本セミナーでは、初等中等教員の“養成”に焦点を当て、4名のキーパーソンをお招きし、ホットなご講義を賜わります。

中教審教員養成部会臨時委員を務めている牛渡氏からは、今次の教員養成に関する法律改正のポイント、及び開放制の多様性と質向上に向けた今後の教職課程について、基調となるご講義を賜わります。

コアカリキュラム検討会の「教職課程の目標設定に関するワーキンググループ」第1WG主査である坂越氏からは、コアカリキュラムについての検討状況を中心に、教職課程の質保証に向けた取組みと今後の方向性について、ご講義を賜わります。

また、事例として玉川大学の森山氏からは、4年間一貫した教職課程受講支援プログラムの実際、2012年に開設された教職課程の全学組織「教師教育リサーチセンター」における5年間の取組みを中心に、ご報告いただきます。

中央大学の眞鍋氏からは、「大規模私立大学」における教職課程の現状と、東京学芸大学が実施した「教員養成認定評価」を受けたことにより表出した課題と改善に向けた取組みについて、ご報告いただきます。